

意外と知らない ニッチなトリビア

今回の「意外と知らないニッチなトリビア」は今回からまた通常バージョンでお届けします。今回は最近日本でも増えてきているブライズメイドに関するトリビアをご紹介します。トリビアを知るって、とってもトレビアーン!!



トリビア好きの案内豆(?)、
トレ・ビーンズ男爵。
小粒だけど面白い
豆知識を広めています。



● ブライズメイドは 悪魔の目を惑わす?

ブライズメイドの別名は花嫁介添人。結婚式で花嫁のそばに立って見守ることで、主に花嫁の友人や親族で未婚の女性が務めます。通常は二人から五人程度で、人数が多いほどステータスが高いとされていマース。白以外のお揃いのドレスを着て、お揃いのブーケを持って花嫁を引き立てたり、バージンロードでの先導や移動時のサポート、式場の受付や進行のサポートなどを行います。ちなみに花婿側で同じ役割

を果たす人はグルームズマンといいますが、日本ではアッシャーと呼ぶことが多いようです。ブライズメイドのリーダーをメイド・オブ・オーナー、アッシャーのリーダーをベストマンと呼びます。

欧米ではメジャーだったブライズメイドですが、日本でメジャーになったのは最近のこと。小栗旬さんと山田優さんがハワイで挙げた結婚式で、友達がブライズメイドを務めたことで、日本にも広まっています。

ブライズメイドの習慣は中世のヨーロッパが起源といわれてマース。当時民衆の間には、悪魔や悪霊の



存在が信じられており、花嫁の幸せを妬む悪魔から花嫁を守るために付き添ったそうです。未婚の女性たちが花嫁と同じような衣装を着て、影武者のように悪魔の目を惑わしたのです。今では、ブライズメイドに選ばれると、次にゴールインすると言われているそうです。それでは、次回のトリビアもお楽しみに!!オ・ルヴォワール!!

※こちらで紹介いたしましたトリビアは一例ですので、地域によって異なる場合がございます。

「意外に知らないニッチなトリビア」では読者の皆様からのトリビアを募集しております。
なお、投稿はアンケートのほうにお願いします。皆様のご応募お待ちしておりますマース。

MY Pleasure

For Our Pleasure

タレント

さがゆりこさん

ウェディングをもっと素敵に!
心がふれあうオシゴト拝見
鍼灸師/銀座ハリッチ院長

川辺なおさん

Personal Facts

(株)オフィスミ代表取締役/
婚礼司会者・ブライダルプロデューサー

荻原理美さん

close up!!

Real Wedding by Yuriko Saga
@イタリア軒



結婚式は、 大人になった自分たちが、 両親に「育ててきてよかった」と 思ってもらうお返しの場

ミス日本グランプリの輝かしい栄誉をきっかけに、多岐にわたる趣味や国際性をいかして幅広い活躍をされるタレントのさがゆりこさんに、挙式間もない今のお気持ちを取材しました。

結婚式のテーマは
「シンプルなものをエレガントに見せる」こと

昨年11月に結婚式を挙げたのですが、準備期間が短かったことと、たくさんのお客様をご招待する大規模な式でしたので、とにかく準備が大変でした。物理的・時間的制約の中で、主人のやりたいことと私のやりたい結婚式のイメージを調整しながら、やっと当日を迎える無事に式を挙げることができました。式後もお互い仕事でバタバタしていたのですが、4月からはやっと新潟をベースに落ち着いた新婚生活を送れるのではないかと思っています。

結婚式は、とにかくシンプルを心がけました。披露宴は二部形式で、一部はデイタイムということもあります、清潔感や清楚さをイメージした白をテーマカラーにしました。二部はイブニングですので、ネイビーをテーマ



と思います。本当に披露宴をしてよかったですと心から思いました。なにより私たちふたりがたくさんの方々に見守られ、これから夫婦として一つの家族をつくるんだと、重く責任を感じ氣が引き締まりました。両親も喜んでくれましたし、自分たちだけで終わらせるのではなく、親のためにも結婚式、披露宴はやった方がいいと思います。また、会場は新潟の老舗ホテルであるイタリア軒にしました。伝統や物語があり、なつかつな試みができる会場であることと、主人のご両親もイタリア軒で式を挙げられていたからで、おふたりもとても喜んでくれました。

何事にも常に全力で

私のモットーは、妥協をしないこと。仕事と家庭、両方上手くやっている女性が今はたくさんいますが、物事に妥協ができない私にはとてもできないと思いま



ます。幸せになるために何かをあきらめるという選択肢があってもいいのかな、と思っていて、これからは家庭を支えていきたいと思っています。

結婚式ではマイプリントさんにも招待状でご協力いただきましたが、招待状はゲストへの最初のプレゼントですよね。ふたりの個性が出せる場所でもあります。予算の半分を招待状に割いて思い切りこだわって、パーティはさらっと行うというスタイルでもとても面白いと思います。これから結婚式を挙げる人には、とにかくやりたいことを言葉にして伝えてほしいと思います。私もたくさんわがままを言いましたが、まとめてくださったのは皆プロの方たちです。ふたりにとって結婚式はわからないことだらけ。プロの腕前に頼り上手になることで、よりイメージ通りの結婚式になるのではないかでしょうか。

さがゆりこ（タレント）

石川県出身。2004年ミス日本グランプリ。キャスター、レポーター、海外ドラマコメンテーターとして日本テレビnews every、ZIP!、WOWOWぶらすと、J:COM Jテレスタイル、Dlife weekend cinema!に出演中。フラワークリエイターとしても活動中。





ウエディングを
もっと素敵に!
心がふれあう
オシゴト拝見

鍼灸を活用し、 美しく健やかな状態でいられる お手伝いを

*仕事の内容は?

鍼灸という東洋医学の専門技術を活用し、心と体、内面と外面のすべてを整えることで、その人らしい美しく健やかな状態でいられるお手伝いをしています。ハリッチの美容鍼灸は単なる美容施術ではなく国家資格者による医療行為。そのため、体内に直接働きかける施術が行えます。真皮層に鍼を入れ、微弱電流を流す施術も特徴です。お肌をダイレクトに刺激し、目覚めさせることで張りや弾力が驚くほどアップしますよ。もちろん、体のコリや疲れの改善、内臓への働きかけも行います。



*仕事をする上で大切なこと

いつでもお客様一人ひとりのトータルライフパートナーとしての存在でありたいと願っています。のために、施術や美容のことだけでなく、いろいろなお話をコミュニケーションをとっています。お客様が直接言葉に出されることだけでなく、本当に求めているものを間違えずにしっかり引き出し、実現していく心がけられています。

女性を輝かせる真の美を求めてスキンケアやメイクを追求し、痛くない鍼と微弱電流を組み合わせた独自のスタイルの美容鍼灸を確立した銀座ハリッチ院長 川辺なおさんにお話を伺いました。

*これから目指すもの

WHO(世界保健機構)にも認められる鍼灸療法の有効性と、一度体験すれば皆驚く美容鍼灸の素晴らしさを多くの方に知っていただきたいです。体調が悪いときに美しいことは難しいことですが、逆に、可愛くきれいになることで、心身ともに元気になれる私は思うのです。一人でも多くの人が、きれいで元気になるお手伝いをしていきたいです。



*この仕事に向いている人

相手のためにできるかぎりのことをあげたいと考える人。そういう点では、ウェディングプランナーの仕事と共通する点があるのではないでしょうか。それから、一生ものの晴れ日のプランをお任せするなら、素敵なプランナーさんにお願いしたいですよね。同じように、お客様の大切な体を任せていただくわけですから、施術者自身もトータルな美を目指す人、美しいことに情熱がある人であります。あってほしいと思います。



川辺 なお(鍼灸師/銀座ハリッチ院長)

大手化粧品会社に勤める母の影響で、美に目覚め、友達にメイクをしてあげたり、髪を結ってあげたりするのが大好きな少女時代を過ごす。女性を輝かせる真の美を求めてスキンケアやメイクを追求し、美容師に向けてのメイクアップセミナーなどを開催。何気なく受けた美容鍼灸のトータルな健美効果に感動し鍼灸師に、痛くない鍼と微弱電流を組み合わせた独自のスタイルの美容鍼灸を確立する。

Personal Facts

今回のPersonal Factsでは、豊富な話題と天性のセンスで、出会った人を笑顔にしてしまう婚礼司会/ブライダルプロデューサーの荻原理美さんの「笑いの素」を分析します!!

成分:笑い 人生すべてネタである

私の座右の銘は、「人生すべてネタである」です。芸人ではありませんが、芸人になったつもりで生きていけば、出会った人はみな笑顔になるし、そこに笑いが生まれて私もハッピーになります。芸人の感性というのは、おもてなしの心に通じるとも思いますが、少なくとも私と会っている間は、3分に一回は笑ってほしいな、といつも思っています。それに、人生全部ネタだな、と考えると、すべてがプラスに変わります。生きていれば、辛いことや嫌なこともありますが、人生に無駄なことなんて一つもないんです。すべて“芸の肥やし”ですね。

成分:家族 「大切な家族」への想いが情熱に

私が今もウエディングの仕事をしている理由は、人にとって最も大切であります。つい後回しにしてしまいがちな「家族」というものに対する思いが強いからだと思います。



*ありがとうございますを伝える事のすばらしさを伝えたい1冊です(荻原理美さん監修)

これまで、1500組近く司会をさせていただきましたが、1500組あれば、それぞれの家庭があります。この家庭で新郎新婦が育ち、そのまったく違う人生を生きてきた二人と一緒にになり、しばらく絆って家族が増えたりする。ウエディングを通じて、様々な「家族の姿」を疑似体験させていただいているんですね。そもそも、席次そのものが、高砂にいる新郎新婦の生きた縮図ですよね。すべて、そこに二人の育ってきた成分が顕れるのです。そして、それが挙式当日にすべて出てしまう。それを見ているだけでも、とても勉強になるのです。



成分:流れのままに生きる そのとき、正しいと思うことを信じて

私は大家族で育ってきて、特に母に大きな影響を受けました。その母が病気になった時、私はプランナーとして多忙で、傍にいてあげられない一方で、お客様からは感謝の言葉をいただく。こういう生き方は偽善じゃないかな、一度リセットしなくていいです。そう思ってプランナーの仕事を辞め、故郷に戻りました。母が落ち着いて、東京に戻って仕事を再開しましたが、おかげさまで、口コミや紹介で、たくさんのお客様に恵まれ今があります。直感を感じる、抗わず、流れのままに生きる。それも、私にとっては大切な成分だと思っています。結婚式は、いろんなマジックが生まれます。家族との関わりを見直したり、生き方を振り返るきっかけもあります。これからは、関わる全ての人たちの感情や心の揺れをくみ取って、より感動を共有できるような進化した司会を模索していきたいですね。

仕事で出会う、様々な「家族の姿」に思いを寄せて、身に起こること全てを笑いのエネルギーに変えながら直感を感じて流れのままに生きる。それが荻原理美さんです。

荻原理美

(株)オフィスリミ代表取締役/
婚礼司会者・ブライダルプロデューサー)
1973年福岡県生まれ。商社営業職を経て、99年に
(株)プラン・ドゥ・シー入社。ウェディングプランナー
に。退職後は、フリーランスのウェディングプランナー・司会者・研修講師として活動。2005年、これまでの婚礼司会の概念とは違ったスタイルの司会を目指し『オフィスリミ』設立。現在は主に、司会者・ウェディングプランナー教育研修を中心に活動。



Real Wedding

by Yuriko Saga @イタリア軒



第一部披露宴
清潔感や清楚さを大切にした
デイタイムウエディング



①ホテルの大階段にて。美しさを際立たせるザ・トリートドレッシングのチュールドレス。
②たくさんのゲストにお集まりいただきました。キャンドルの光がとても幻想的。
③Joe MASUZAWAさんにお願いしたペーパーアイテムは
シンプルで上品なコーディネートにぴったり。
④新潟県の特産品であるユリをメインにコーディネート。



「For Our Pleasure」のコーナーにご登場いただいた
さがゆりこさんのパーティの様子をクローズアップ。
第一部と第二部、それぞれにテーマを設け、
各分野のプロたちと共に創り上げたパーティをお見せします。



第二部披露宴
シンプルでエレガントな
ナイトウエディング



①第二部のペーパーアイテムは新作スマイルコレクションのホワイトベールで。
②ドレスはザ・トリートドレッシングのスレンダードレス。披露宴のはじまりを待ちます。
③装花は全てアイロニーの谷口敦史さんにオーダー。パーティが更に華やかに。
④ヘアメイクは三田サトシさんにお願いしました。

トータルプランニング ブランナー 黒沢祐子さん
撮影 カメラマン 赤間剛夫さん